

論文審査の要旨
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 (教育学)	氏名 Author	ELENITA NATALIO QUE
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論文題目 Title of Dissertation Recontextualizing Teacher ICT Capability in Geographically Isolated and Disadvantaged Areas at the Time of COVID-19			
論文審査担当者 Dissertation Committee Members			
主 査 Committee Chair	准教授 日下部 達哉		印 Seal
審査委員 Committee Member	教授 石田 洋子		
審査委員 Committee Member	教授 吉田 和浩		
審査委員 Committee Member	准教授 谷口 京子 (人間社会科学研究科)		
審査委員 Committee Member	准教授 川口 純 (筑波大学人間系教育学域)		
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review			
<p>本研究は、フィリピン農村部、島嶼部のへき地、とりわけ台風などの自然災害に襲われる傾向にある土地の中等教育において培われてきた、教師の ICT ケイパビリティ (ICT Capability) の今日的再文脈化を図ろうとした。過去二年間、フィリピンもコロナ禍にあり、多くの人命が失われるとともに、教育の喪失も社会問題化した。本研究では、へき地の前期中等教育において、ICT ケイパビリティを培ってきた教師たちが、コロナ禍にあっても、それを活用し、成績の低下や、ドロップアウトなどの教育の喪失を食い止められたのか否か、ルソン 3 校、ビサヤ 3 校、ミンダナオ 3 校、計 9 校の事例研究で検証している。</p> <p>先行する研究では、ICT ケイパビリティが、効率的な知識伝達や、遠隔教育等、方法論的研究を中心としていた (TPACK モデル) のに対して、本研究では、機材や電力などのリソース不足はもとより教育人材の不足もある、へき地において培われてきた ICT ケイパビリティが、コロナ禍にあって、知識伝達の効率性維持に貢献していることに加え、教師間および教師-生徒間の協力意識の醸成、協力体制構築にも貢献してきたことが明らかにされた。これにより、TPACK モデルがカバーしていた範囲に加え、カバーできていない面をより広範なフレームで捉えることができる新たなモデル構築の基盤がつけられた。</p> <p>なお、著者はこれまで、査読つき論文 3 編、国際会議発表 9 編を公表した。以上、審査の結果、本審査委員会委員は、本論文が著者に博士 (教育学) の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			